

大規模災害協定に基づく連絡会（鹿児島ブロック）議事録

日 時：令和 5 年 5 月 23 日 10：00～11：00

場 所：鹿児島地域振興局 5 階 大会議室

出席者：（発注者側）

建設部長	橋口 高行
建設総務課長	高良 尚男
土木建築課長	日高 正明
河川港湾課長	稲 卓郎
土木建築課技術補佐	小磯 誠
土木建築課技術補佐	山元 学
河川港湾課技術補佐	相星 憲志
技術調整係長	谷口 徳哉
技術専門員	谷口 大作
土木技師	園田 鷹将

（協会側）

役 員 安永会長、上野副会長

連絡責任者 安永信一郎（正：国土技術 C）、塩入清道（副：新日本技術 C）

参加企業 南日本技術 C（2 名）、タカラプランニング（2 名）大和測量設計
（1 名）、大福 C（1 名）、振興測量設計（2 名）

（地質調査業協会）

理事長 他 5 名

1. 開会挨拶

（橋口部長）

（安永会長）

2. 連絡体制に係る情報交換について

- ・谷口係長より、受発注者相互の連絡体系図、支援企業の連絡体制、鹿児島地域振興局の連絡体制について説明があった。尚、勤務時間外連絡先の携帯電話番号は、個人の番号なので取扱いを注意するようとの事。

3. 支援協力の範囲及び災害時の被害状況調査内容について

- ・連絡責任者（正）の安永氏より、支援協力の実績、支援協力連絡会や災害対応研修会の開催状況、災害支援協力の流れ、災害対応講習会の受講者のみが支援協力に携わることができる旨を説明した。

4. 公共土木施設等の状況について

- ・ 谷口係長より、鹿児島地域振興局管内の公共土木施設概要が説明された。

5. 意見交換

- ・ 協定書第3条（支援協力の内容）の確認。
- ・ 協定に係る実施要領7項（調査の方法）、9項（報告内容等）の確認。
- ・ 被災情報調査における UAV による動画の有効性や、利活用検討の必要性の確認。
- ・ 国交省における DX 査定等の動向について、情報を提供した。
- ・ 発災時の要請連絡について、混乱を招かないように原則として協会事務局へ連絡を頂くように要望した。
- ・ 発災時における台帳の迅速な手配を要望した。
- ・ 調査報告期限は、豪雨が継続している場合は考慮して設定して頂くように要望した。

